9月7日(木)～11日(月)

和牛のオリンピック 花の7区で総合2位

～第11回全国和牛能力共進会の結果～

和牛の改良の成果や優秀性を競う全国和牛能力共進会が、9月7日（木）から11日（月）の5日間、宮城県仙台市で開催され、鳥取県代表の和牛が部門別の総合2位の成績を収めました。

総合2位を受賞した部門は、花の7区と呼ばれ、種牛と肉牛を総合的に評価する部門です。この部門で優秀な成績を収めることは、出品した都道府県の和牛が優れていることを認められたことになります。

この受賞を契機に、鳥取和牛の知名度アップや販路拡大に大きく貢献することが期待されます。

▲7区出場の生産者たち

9月13日(水)

豊かに実った献穀米を稲刈り

～新嘗祭供御献穀斎田抜穂式～

宮中の新嘗祭に献上するお米「献穀米」の稲刈り「抜穂式」が9月13日（水）、小町の献穀斎田で行われました。

6月に植えた稲は順調に生育し、黄金色に染まった斎田で献穀者の遠藤光明さん夫妻、鳥取県知事、町長ら参列者が稲刈りを行いました。

抜穂式では、刈り取った稲が地面につかないよう、1束ずつ丁寧にわらで束ねられ、ハデにかけられました。収穫したお米は、この後、乾燥、精米などを行い、10月23日（月）に宮中へ献上されました。

遠藤さんは、「台風や長雨を心配していましたが、無事収穫することができホッとしました。作柄もよく、良いお米を献上できました」と話しました。

▲一束ずつ丁寧に

▲参列者で稲刈りを行います

9月26日(火)

ドライバーに安全運転呼びかけ

～秋の全国交通安全運動合同啓発活動～

高齢者と子どもの交通事故防止などを重点項目とする「秋の全国交通安全県民運動」期間（9月21日～30日）に合わせ、9月26日（火）、Aコープみぞくちで、江府町と合同で街頭啓発を行いました。

啓発には、伯耆町、江府町の交通安全指導員や小中学校の交通安全保護者の会、鳥取県交通安全協会日野川地区協会の会員など約30人が参加し、国道181号線からAコープみぞくちの駐車場内へ誘導されたドライバーに対し、リーフレットを手渡しながら、安全運転を呼びかけました。

鳥取県交通安全協会日野川地区協会の河上会長は、「秋は暗くなるのが早く、交通事故が増えるため、引き続き交通事故防止を呼びかけていきたい」と話しました。

▲交通安全を呼びかける参加者